

会 報

2018～2019 R I 第2720地区

人吉ロータリークラブ

The Hitoyoshi Rotary



通 算 3 0 2 0 回
2019年4月19日
第 3 4 回 例 会

インスピレーションになろう

2018-2019年度 R I 会長
バリー・ラシン

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場 事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505



人吉ロータリークラブ
ホームページ



f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2018～2019年度 人吉ロータリークラブテーマ 「人生二度なし ～良き出会いを～」

本日の進行

- P 1 会長の時間
- P 2 幹事報告、出席率報告、会務報告
職業奉仕委員会
- P2～4 訪問先 緋月酒造(株)様
ご挨拶、会社概要、事業説明
R財団・米山カード・ニコニコ箱カード

職場訪問例会

「緋月酒造株式会社」 人吉市新町1



点 鐘 有馬宏昭 会長

歌 唱 ッガリーガー 加登住亮委員長

国 歌 「君が代」
四つのテスト唱和
R S 「奉仕の理想」

司会・進行 青木一幸 プログラム委員長

会長の時間

会長 有馬宏昭



本日は、職業奉仕委員会のお世話
で、堤 正博パスト会長の「緋月酒造
株式会社」での職場訪問でございま
す。堤正博会長、堤純子社長、ご多
うの中お世話になります。

職業奉仕委員会の事業で5月10日に
は優良職員表彰を実施いたします。まだ間に合います
ので、是非推薦していただきたくお願い申し上げま
す。

こんにちは、会長の時間です。

本日4月19日は「地図の日です」

今日がどうして地図の日かと申しますと、寛政12
(1800)年閏4月19日、55歳の伊能忠敬
が、江戸深川黒江町の隠宅を午前8時に出発。蝦夷
地測量に出発した日を記念しています。

伊能忠敬は1745年、千葉県九十九里町にて、神保
家の末子として誕生、18歳で伊能家の婿養子になり
ます。当主不在で傾きかけていた伊能家を再興し、
名主として、天明の飢饉際には、住民に一人の餓死
者も出さなかったとして、名字帯刀を許されます。
商人として成功した伊能は、49歳で家業を長男に
譲り江戸で、念願であった幕府天文方、高橋至時の
門下生になります。高橋至時30歳、伊能の19歳年
下になります。

5年間学ぶ中、地球の大きさに関心を持ち、測定
のために江戸と蝦夷地ほどの距離を測量する必要
を感じますが、そのためには、幕府の許可が必要に
なります。そのような中、ロシアをはじめ海外勢力
が日本に迫っておりました。国防上精密な地図の必
要性を察知した高橋至時は、蝦夷地の正確な地図の
作成を幕府に願ひ出ます。1800年4月14日、
幕府から任が下り、伊能忠敬は門弟達と、5日後の
4月19日に蝦夷地に向かい出発しました。この日
が地図の日になりました。(ちなみに伊能の計算で
は、39,960km、地球の1周は40,000kmですから誤差は
1/1000であります。1kmは赤道から北極までの
1/1万とメートル法で決まっていますので)

測量の当初は、許可のみで伊能の自費でしたが
(第一次測量では、現在価値で3,000万円くらいの出
費とされています)、半年後東日本の地図を見、
評価され将軍家斉により、幕府直轄事業となりました。
(ここ人吉にも、第7次、第8次の九州測量で立
ち寄っています。)

55歳で測量を始め、10次にわたる測量を重ね、歩
いた距離は4千万歩以上、足掛け17年で作り上げま
す。地図をつなぎ合わせる作業の中、73歳で生涯を
閉じています。

後に、1827年に起きたシーボルト事件は、伊能図
を持ち帰ろうとした事件です。それだけ貴重な資
料、国家秘密であった証明であります。

会務報告

【次年度】

次年度幹事 青木一幸

次年度人吉RC委員長会開催のご案内

日時；5月16日(木) 18時30分～ひまわり亭

FAXでご連絡いたします。

【職業奉仕委員会】

委員長 石蔵尚之



本日は職場訪問例会にご参加頂きありがとうございます。そして堤パスト会長のご厚意によりまして本日の職場訪問例会が実現いたしましたことを心より御礼申し上げます。

後ほど純子社長より事業概要等を説明して頂き、その後社員の馬場様から工場内を説明して頂きます。見学後は試飲ができるコーナーもございます。どうぞ宜しくお願い致します。

ご挨拶
会社概要・事業説明

会長 堤 正博様
社長 堤 純子様

織月酒造の取組について

～伝統文化の継承で大切にすること～



織月酒造株式会社

織月酒造

織月酒造沿革(創業～昭和57年)

年号	創業～115年のあゆみ
明治 36年 0	初代堤治助が創業
大正 12年 20	堤治助商店 新町店舗完成
昭和 18年 40	長男堤三年生、二代目治助を興名
25年 47	法人設立 株式会社堤酒造本店
39年 61	峰の露酒造(株)へ社名変更
# #	熊本営業所ビルを新築
43年 65	本社屋を新築
47年 69	東京事務所開設
48年 70	大手蔵完成
52年 74	アメリカ・ロサンゼルスへ輸出
53年 75	三代目社氏・淋豊嘉が現代の名工を受章
56年 78	現工場新築落成
57年 79	二代目社長に堤正博就任



創業当時の写真 人物は初代堤治助



仕込み風景

織月酒造

織月酒造沿革(昭和57年～現在)

昭和 57年 79	「織月」発売
60年 82	二代目堤治助 勲四等瑞宝章受章
62年 84	第一回織月まつり開催(以後毎年開催)
平成 2年 87	櫻博野蔵「たる織月」発売
7年 92	「舞せんげつ」発売
9年 94	地産地消の取組み 「さきもり」発売
14年 99	福岡営業本部開設
15年 100	創業100周年 翌年 織月酒造(株)へ
20年 105	リキュール免許取得 「恋しそう」発売
22年 107	現工場増築 「織月城見蔵」完成
# #	アメリカへ輸出再開
25年 110	LAコンペティションで「川辺」最高金賞
28年 113	四代目社長に堤純子就任



織月まつり



織月城見蔵

人生50年と言われた時代にあって、55歳から人のため、世のために尽くした伊能忠敬の人生。子々孫々後世に生きる人たちのために自分に何が出来るか、出来ることをコツコツと努力出来るかが要諦であります。

喘息持ちで、娘のお稲への書簡には、「元気ではあるが歯は1本だけになり、奈良漬も食べかねている」と書き送っています。病弱でありながら、意志力で初志貫徹した伊能忠敬。ロータリ会長職を終えればのんびりしたいと思っている私に取りまして、これからの生き方を問う伊能忠敬の生き方です。会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 新堀純子

①連絡事項

- ・高山ガバナーより熊本・大分地震からのJR豊肥本線復旧、断線を歌でつなぐ豊肥線プロジェクトへの協力お願い
(内容) 熊本大分地震により第2720地区の熊本と大分を結ぶJR豊肥本線が土砂災害にあい現在も阿蘇駅～肥後大津駅間が不通となっている。この状況のなかで 竹田RCの呼びかけにより阿蘇・肥後大津・竹田の3クラブは熊本大分に関連したご当地曲を1枚のCDにし、売り上げを早期全線復旧の支援に充てるプロジェクトを立ち上げた。1枚1500円で販売500円が支援金。またJR九州へ早期復旧の嘆願書の署名活動もする。→来回回覧
- ・次年度の地区会員増増強セミナーと次年度ロータクト研修会のご案内。→次年度平田増強委員長次年度延岡RA委員長へお渡しします。
- ・大分キャピタルRCより20周年記念ゴルフ大会のお知らせ(次年度9月なので本日は連絡のみです。詳細が渡り次第ご案内します)
- ・世界米山大会のご案内(モンゴルの大草原にて遊牧祭の体験) →米山委員長へお渡しします。

出席率報告

委員長 馬氷慎哉

会員数	59名	本日の出席率	
出席免除	3名	73.68%	
欠席者数	15名	4 / 5 例会	55.17%
出席者数	41名	補 填 数	15名
免除会員出席者数	1名	修正出席率	81.03%

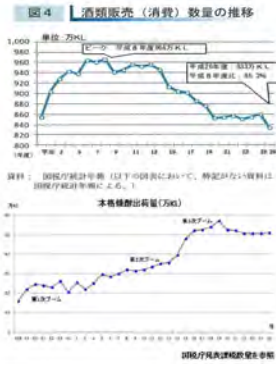
* 届け出欠席 後藤・堀川・北・小林清・小林祐・宮原・村山
内藤・中村・中島・大賀・尾上・戸高・外山
和田

* 出席免除会員 (b) 愛甲 板井 伊久美

* メークアップ

3/23人 IM (水俣) ; 安達・岩井・北・小林祐・馬氷・村田
永尾・内藤・中村・中島・大賀・尾上
戸高・外山・和田

本格焼酎の現状



- アルコール業界の問題点
- ・飲酒運転問題
 - ・少子高齢化
 - ・若者のアルコール離れ
 - ・アルコールの規制強化

大切にしてきた指針

①文化の継承とチャレンジ精神

先代の想いを頑なに守るだけでは、時代に取り残され、長い存続はできない。革新的な考えを常に持ち、嗜好のニーズを取り入れながら文化を伝えていく

②他にないブランドを

企業の特徴を明確にする。貴重な古酒や、質の高いものを造り、歴史や品質を大切に企業の考えを示す

③コストダウンをしない

無駄は省いても、品質を落とすようなコストダウンは絶対にしない。球磨焼酎の原料は米と水だけ。質にこだわる姿勢を崩さない

④地域に根差す

焼酎は南九州の文化、球磨焼酎は熊本文化である。熊本企業として地域に貢献する（毎月まつり開催・スポーツ大会協賛など）

①文化の継承とチャレンジ精神 ～六代の杜氏の技～



三代目杜氏・林豊高、50年以上前この土間に貯蔵を始めた

初代から蔵に専属の杜氏を抱え、その蔵子（弟子）の中で優秀な者が次の杜氏になるという当時としては稀有な蔵。独自の高度な技術が代々伝承され、現在六代目杜氏が安定した味と品質を守っている

三代目・林豊高は焼酎業界に貢献したことが評価され昭和53年「現代の名工」を戴く。

「球磨焼酎は寝かせるほどに旨みを増す」と信じ、特に出来の良い焼酎を土甕に貯蔵。今では50年を超える古酒も眠っている。



①文化の継承とチャレンジ精神 ～貴重な古酒～



旧蔵月大手蔵



桜花流水文 古酒銀月（瓶・香壺社製）



大古酒



銀月土手蔵



無言

三代目・林杜氏の時代から「土甕貯蔵」と「檜樽貯蔵」の長期貯蔵した古酒が眠っています。米焼酎は寝かせるほどに甘み・香り・ろみが増し、焼酎を越えた焼酎へと変化していきます。

③コストダウンをしない ～手間をかけ丁寧な造り～

蒸留器

大量生産型の大型蒸留器で量産を目指すのではなく、味わいや質を重視した小さい蒸留器を導入し、構造にも工夫を加えた造りをしている。

酵母

専門家、研究員を抱え酵母も自社で培養。（西村先生、立山研究員）



質の高い原料
米焼酎の原料は米と水。原料のコストダウンはしない。

杜氏の技術
創業当時から歴代杜氏が伝承してきた技を継承し、時間と手間を惜しまない手造りの製造を目指している。

②他にないブランドを ～地産地消の取組み～



地域おこしへの支援 ～地域の水、地域の米を使った焼酎造り～
若手蔵（さくしこ女）・千葉蔵（めだいの）・佐賀蔵（しろいし）・熊本県内5銘柄・・・9銘柄

②他にないブランドを ～質の高いものづくり～

熊本県相良村の地域おこしの有志とともにつくりあげたブランド。川辺川の水とその流域の相良村産米のみを使用。国土交通省が毎年行っている、全国の一級河川の水質調査において、川辺川（熊本）は、平成18年から12年連続で栄々の1位を獲得。2013年LAワイン&スピリッツコンペティションで最高金賞受賞。



川辺川

世界的な酒類品評会で「川辺」が最高金賞を受賞いたしました。

Los Angeles Wine & Spirits Competition 2013

川辺川

通き通るような香りと味わい

④地域に根差す 織月まつり

織月まつりの開催

32年続いている自社の蔵まつり

日ごろのご愛飲に感謝し、当日の売上は全額、市内の学校・施設へ寄付しています。寄付金額は合計で3千万円を超えました。



寄付先	購入品目	売上金額
人吉市社会福祉協議会(2回)	福祉活動	522,110
人吉市内小学校(13回)	図書・プロジェクト	11,868,040
人吉市内中学校(5回)	和太鼓等本鼓 AED	5,654,254
球磨工業高校(10回)	伝統建築 資材	3,575,216
国宝 青井阿蘇神社(10回)	周辺整備費用	3,721,978
東日本大震災(1回)	子供への教育支援	1,104,321
密林軒社(1回)	石灯籠	1,105,565
海星・五字園(1回)	陶器室	1,003,500
熊本県 交際基金(1回)	若手芸術家応援基金	1,257,680
熊本県立美術館(1回)	館長文化の歴史展	1,318,680
熊本県 震災復興(1回)	震災復興	1,844,276
	合計	33,106,060



④地域に根差す ～スポーツ・文化への支援～

スポーツ、文化への支援

県内外のスポーツ大会への協賛

2月	はるかぜマラソン大会
3月	織月杯 マスターズ駅伝大会
4月	織月カップ テニストーナメント大会
6月	織月旗争奪 ソフトボール大会
	織月杯 あさぎり町 ソフトボール大会
7月	織月杯 水俣 ソフトボール大会
	織月杯 相良村 グランドゴルフ大会
9月	織月杯 バレーボール大会
	織月杯 熊社ソフトテニス大会
10月	織月杯 水俣 グランドゴルフ大会
	織月カップ ダブルステニス大会
11月	織月杯 坂本 グランドゴルフ大会
	織月杯 3地区対抗ソフトボール大会
12月	織月杯 人吉 グランドゴルフ大会

※その他 地域の祭りや、民謡民舞大会など文化活動なども応援しています



④地域に根差す ～観光施設として 織月城見蔵～



40年ほど前から工場見学ができる蔵として観光客を受け入れている製造過程をガラス越しではなく、オープンにしている年間4～5万人の観光客が来場平成22年6月に、「織月城見蔵」を新設

100年企業顕彰 大賞受賞

100年経営の会

「第2回100年企業顕彰」において100年経営大賞・九州経済産業局長賞を受賞。地域社会、経済界への貢献や、伝統を守りながらも革新に取り組む企業経営を表彰

- ・九州経済産業局長賞 織月酒造株式会社
- ・福岡県知事賞 株式会社安川電機

その他 九州・沖縄の計14社が受賞。



ご清聴ありがとうございました。



【寄付カード】

〈ニコニコ箱委員会〉

- ・有馬会長 堤正博パスト会長、堤純子社長、本日は貴重なお話を頂きありがとうございました。おてなしに感謝申し上げます。
- ・石蔵会員(職業奉仕委員長) 本日は職業奉仕、地域貢献を学ばせて頂きました。堤パスト会長はじめ純子社長、馬場様には貴重なお時間を頂き心より感謝申し上げます。
- ・寶代会員 織月酒造 堤様、本日の見学お世話になりました。沢山の受賞もおめでとうございました。これからもいっぱいや一飲ませて頂きます。
- ・新堀幹事 本日は堤会長、純子社長、職場訪問へのご協力ありがとうございました。先程の幹事報告間違っていました。今日の満月は月見一杯で皆さんいかがでしょうか？
- ・有村会員 用事がありまして早退します。

点 鐘 有馬宏昭 会長

～工場見学～